

「特色ある学校づくり」

＜小中連携した教育～小中併設校の利点を活かした教育の推進～＞

小中併設校の利点を活かして、次の2点について9年間を通した子どもたちの育成を小中それぞれの持ち味を大切にしながら、小・中学校が一体となって取組を進める。

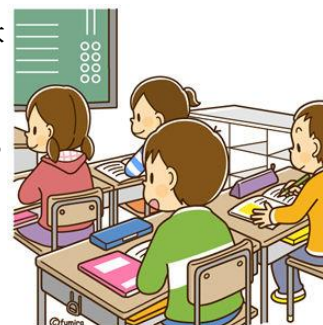
(1) 学力向上

◎ 学習困難者への学習支援について研修を深め、全体的な学力向上を図る。

授業研究を中心に校内研修を進め、「わかる授業」をめざして授業公開、情報交換を行う。また、課題を焦点化し、外部講師を招いて小中合同での研修を計画する。

小中の年間指導計画やシラバスをもとに、9年間を見通した指導体制を検討し、教科の連携を進める。

中学校から小学校へ、小学校から中学校へ授業支援を進め、子どものつまずきに気づき、教科指導に役立てる。



(2) 子ども支援

◎ 子ども支援のシステムを構築し、子どもの情報を共有し理解を深める。

朝の打ち合わせ、職員会議、校内研修等で子どもの様子を交流し、同じ校舎で生活している利点を活かし、子どもたちの指導に当たる。

スクールカウンセラー、れんげの里指導員と連携し、子どもたちの実態分析とそれを元にした小中一貫性のある具体的な支援について検討し、支援を進める。

小中いっしょに行事を開催し、小中の子どもたちの交流を図り、この活動を通して仲間づくりの取組を展開する。



(3) 保育所との連携

- ① 合同避難訓練の実施
- ② 紙芝居、読み聞かせ、群読、歌、等を使った交流（小学校・中学校）
- ③ 家庭科「保育分野」での実習体験（中学校）

<地域とともにある学校づくり～コミュニティ・スクールの推進～>

地域とともにある学校を目指して、「防災」「行事」「地域学習」について学校と地域がともにと組を進める。

防 災



- ・地域と避難訓練
 - ・避難所運営 など
- <防災委員会>

行 事



- ・海開き、浜掃除
 - ・新鹿大運動会
 - ・文化祭
- <各委員会>

地域学習



- ・地域の人から学ぶ
- ・地域のことを学ぶ